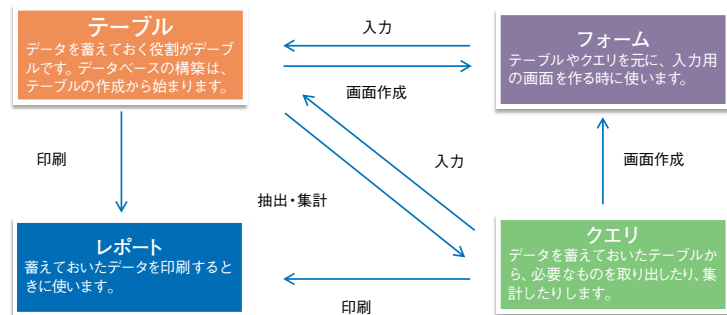


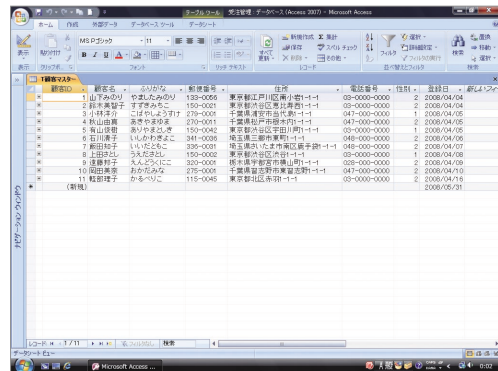
オブジェクトとは

Access のファイルはオブジェクトで構成されています。オブジェクトには、テーブル、クエリ、フォーム、レポートがあり、それぞれには役割があります。オブジェクトの関係をまとめると次のようになります。

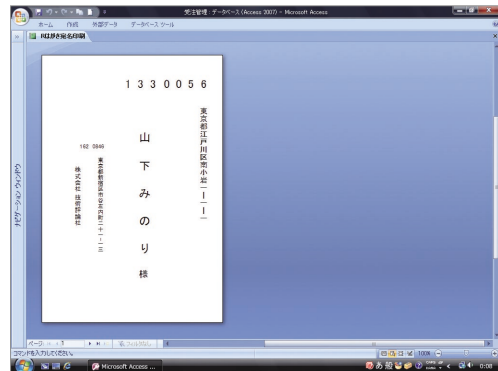


上図と照らし合わせながら、本書で作成するオブジェクトを見てみましょう。

● テーブル (T 顧客マスター)

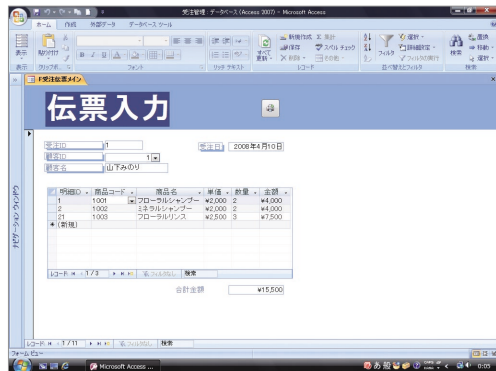


● レポート (R はがき宛名印刷)

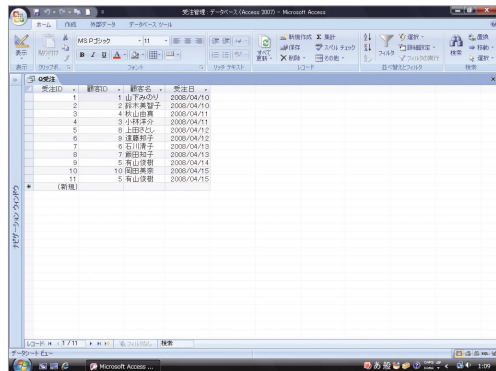


「T 顧客マスター」「T 受注」「T 商品マスター」「T 明細」テーブルから必要なフィールドを抽出し、「Q 受注」「Q 明細」クエリを作成します。その2つのクエリをもとに入力用の「F 受注伝票メイン」フォームを作成します。「F 受注伝票メイン」フォームを使ってテーブルに入力します。また、「T 顧客マスター」をもとに「R はがき宛名印刷」レポートを作成して印刷することができます。

● フォーム (F 受注伝票メイン)



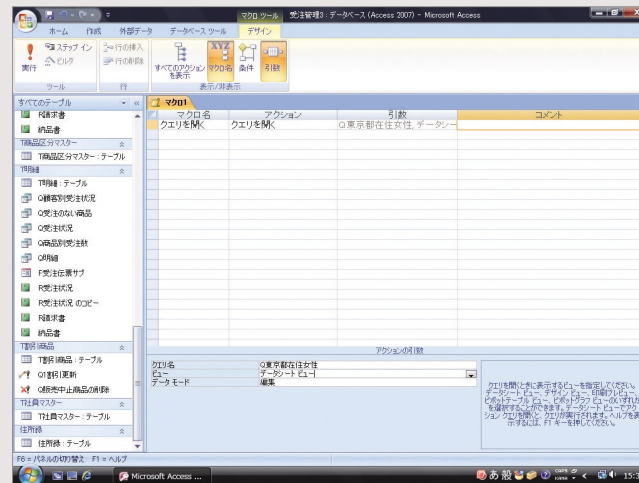
● クエリ (Q 受注)



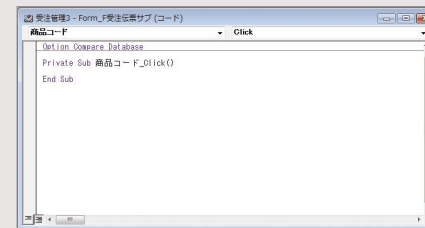
POINT! マクロとモジュール

● その他、操作を自動化するマクロがあります。クリック1つで印刷したり、入力画面を閉じたりなど、データベースを効率よく使えるようにできます。モジュールはVBA (Visual Basic for Applications) という言語で作成したプログラムを保管する場所です。

● マクロの画面



● Visual Basic の画面



本書で作成するオブジェクト

本書では、11 ページのテーブルの他にもさまざまなオブジェクトを作成します。より多くのオブジェクトを作成することで、Access の操作を覚えられます。細かい作業もありますが、一つ一つ作り上げてみましょう。

第2章	T 顧客マスター T 顧客入力 T 商品マスター T 商品区分マスター T 受注 T 明細
第3章	Q 顧客電話番号 Q 東京都在住女性 Q 顧客別受注状況 Q 商品別受注数 Q 受注 Q 明細
第4章	F 受注伝票メイン F 受注伝票サブ F 受注伝票2メイン F 受注伝票2サブ
第5章	Q 請求書 R 請求書
第6章	Q 東京都在住顧客 50 音順
第7章	T 割引商品テーブル Q 割引商品テーブル作成 Q 割引商品追加 Q 販売中止商品の削除 Q1 割引更新 Q 受注のない商品 Q 顧客マスターの重複レコード Q 受注日を指定 Q 受注状況のクロス集計 Q 受注状況 Q 受注回数
第8章	R 宛名ラベル R はがき宛名印刷 R 電話番号リスト R 受注状況
第9章	R 受注グラフ T 社員マスター T 得意先マスター